

令和六年度学力検査

A
国

語

(九時三十分～十時十五分、四十五分間)

問題用紙

※著作権に配慮して別紙は
載せておりません

注意

- 一、「開始」の合図あいずがあるまで開いてはいけません。
- 二、答えは、すべて解答用紙に書きなさい。
- 三、問題は、**1** から **5** までで、九ページにわたって印刷してあります。
なお、問題用紙のほかに別紙があり、表に別紙1、裏に別紙2が印刷されています。
- 四、「開始」の合図で、解答用紙の決められた欄らんに受験番号を書きなさい。
- 五、問題を読むとき、声を出してはいけません。
- 六、「終了」しゅうりようの合図で、すぐに筆記用具を置きなさい。

1

次の①～⑧の文の傍線部分について、漢字は読みをひらがなで書き、ひらがなは漢字に直しなさい。(八点)

① 一家で農業を営む。 ② 図書^{へんそく}の返却^{へんそく}を促す。 ③ 道路^{はば}の幅^{はば}を拡張^{かくちやう}する。 ④ 作品^{さくひん}に思いを凝縮^{へんそく}する。

⑤ 冬^{ふゆ}の日はみじかい。 ⑥ 平和^{へいわ}の鐘^{かね}をならす。 ⑦ 店先^{みせさき}にかんばん^{かんぱん}を出す。 ⑧ じゃっかん^{じゃっかん}の変更^{へんこう}が生じる。

2

別紙1の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 傍線部分①「微笑^{ほほえ}ん」は動詞であるが、その活用形として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、未然形 イ、連用形 ウ、連体形 エ、仮定形

(二) 傍線部分②「すとんと座^{すわ}った」とあるが、「すとんと」と「座^{すわ}った」とはどのような文節どうしの関係か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、主・述の関係 イ、修飾・被修飾の関係 ウ、並立^{へいりつ}の関係 エ、補助^{ほすけ}の関係

(三) 傍線部分③「気になってたんだ」とあるが、那彩^{なさい}が気になっていたことは何か。次のア～エから最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、自分が、ずばずばとものを言ったため、千春^{ちはる}が先輩^{せんぱい}たちとの議論^{ぎろん}に入れなかったのではないかということ。
イ、自分が、先輩^{せんぱい}たちと投影機^{とうえいき}の話^{わたり}をしていたため、初心者^{しんしゆ者}の千春^{ちはる}は楽しめなかったのではないかということ。
ウ、自分が、千春^{ちはる}を天文部^{てんぶんぶ}に強引^{きやういん}に誘^{さそ}ったことで、千春^{ちはる}に無理^{むり}をさせているのではないかということ。
エ、自分が、天文部^{てんぶんぶ}に入^いってから舞^まいあがっていることで、千春^{ちはる}に心配^{しんぱい}をかけているのではないかということ。

(四) 二重傍線部分「なんかちよっと、うらやましかった」口に出したら、妙にすっきりした」とあるが、千春がこの言葉を口に出したことで、妙にすっきりしたのは、どのようなことに気づいたからか。「……ことに気づいたから。」につながるように、本文中の言葉を使って三十五字以上四十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

(五) この文章の表現についての説明として最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、葉山先生とのやり取りを通して、天文部に対して相反する姿勢を示していた千春と那彩の行動や心情を、対比しながら表現している。
- イ、前半では、葉山先生の助言を受け入れていく那彩の心情を、後半では、過去の自分と向き合う千春の心情を、比喩を用いて表現している。
- ウ、天文部での出来事を語り手の目線で客観的に描写し、葉山先生や那彩たちに対する千春の行動や心情が変化する様子を表現している。
- エ、千春と那彩との会話が展開し、那彩が自分の経験を千春に伝えたことにより、二人の思いが通じ合っていく様子を表現している。

別紙2の文章を読んで、あとの各問いに答えなさい。(十二点)

(一) 傍線部分①「登り」は動詞であるが、波線部分①～④の動詞のうち、活用の種類が「登り」と同じものを一つ選び、その番号を書きなさい。

(二) 傍線部分②「強い」の品詞名として最も適当なものを、次のア～オから一つ選び、その記号を書きなさい。

〔ア、副詞 イ、連体詞 ウ、動詞 エ、形容詞 オ、形容動詞〕

(三) 傍線部分③「外国のライチョウ」とあるが、次の [] の中には、外国のライチョウがもつ、日本のライチョウとは異なる特徴について、筆者の考えをまとめたものである。 [] に入る言葉を、本文中の言葉を使って五字以上十字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

外国のライチョウは、人が近づくと飛んで逃げるなど、人に対する [] という特徴がある。

(四) 次の [] の中には、別紙2の [] A、[] B、[] C、[] D のいずれかに入る文である。この文が入る最も適当な箇所を、 [] A、[] B、[] C、[] D から一つ選び、その記号を書きなさい。

こうして、今日の里の環境が^{かきま}つくり出された。

(五) 次の [] の中には、日本のライチョウが人を^{おそ}れない理由について、筆者の考えをまとめたものである。 [] に入る言葉を、ライチョウの生息地の特徴にふれて、本文中の言葉を使って二十五字以上三十五字以内で書きなさい。(句読点も一字に数える。)

日本人にとってライチョウは、 [] から。

問題は、次のページに続きます。

I、II、IIIを読んで、あとの各問いに答えなさい。(八点)

中国に

I もろこしの国に、(注一)むかし孫康といひける人は、いたくがくもんを好みけるに、買うことができなかったので油をえかはざりければ、

書物

夜は雪のひかりにてふみをよみ、又同じ国の車胤(注二)といひし人も、いたく書よむ事をこのみけるを、これも同じやうにいと貧しくて、

得ることができなかったので

②

油をええざりければ、夏のころは螢を多くあつめてなむよみける。此の二つの故事は、いといと名高くして、しらぬ人なく、

③

昔あつた事から

歌にさへなむおほくよむことなりける。

〔玉勝間〕による。

* 一部表記を改めたところがある。

【訓読文】 ※ 原文(白文)に句読点、返り点、送り仮名をつけた文章。

II 孫氏世録日、康家貧無油、常映雪

読書。

【書き下し文】

〔孫氏世録にいうことには

孫氏世録に曰はく、孫康康家貧にして油無し、常に雪に映して

雪に照らして

書を読む。

まじめに学業にはげみ

III 晋車胤字武子、南平人。恭勤不倦、

博覽多通。家貧不常得油。夏月則

練囊盛数十萤火、以照書、以夜繼

日焉。

晋の車胤字は武子、南平の人なり。恭勤にして倦まず、
博覽多通なり。家貧にして常には油を得ず。夏月には則ち
練囊に数十の螢火を盛り、以て書を照らし、夜を以て日

に繼ぐ。

〔蒙求〕による。

* 一部表記を改めたところがある。

(注1) 孫康 ——— 中国の晋の時代の人物。
 (注2) 車胤 ——— 中国の晋の時代の人物。

(一) 傍線部分①「同じやうに」を現代仮名遣いに改め、すべてひらがなで書きなさい。

(二) 二重傍線部分「常 映 雪 読 書」が、「常に雪に映して書を読む」と読むことができるように返り点をつけたものは、次のア〜エのうちどれか。
 最も適当なものを一つ選び、その記号を書きなさい。

- ア、常 映 雪 読 書 イ、常 映 雪 読 書 ウ、常 映 雪 読 書 エ、常 映 雪 読 書

(三) 傍線部分②「夏のころは螢を多くあつめてなむよみける」とあるが、車胤がこのようなしななければならなかった理由について、Ⅲではどのように表現されているか。Ⅲの【訓読文】から六字で抜き出して書きなさい。(句読点、返り点、送り仮名は不要である。)

(四) 傍線部分③「此の二つの故事」とあるが、次の [] の中は、Iに続く文章で、筆者が「此の二つの故事」に対して意見を述べている箇所の一部である。 [①]、 [②] に入る言葉の組み合わせとして最も適当なものを、あとのア〜エから一つ選び、その記号を書きなさい。

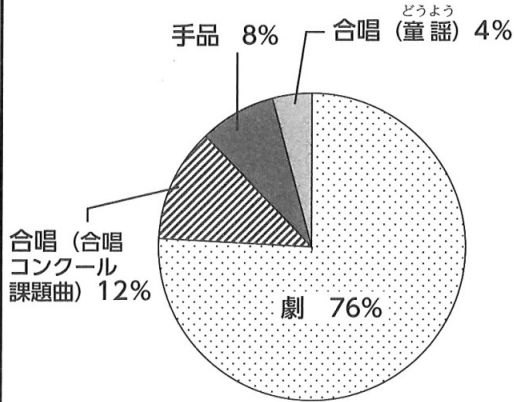
もし油をえさずば、よるよるは、ちかどなりなどの家にもものして、そのともし火の光をこひかりても、書はよむべし。
毎夜 たのんで 読めるだろう
 たとえ 思うようにならず かすかであるとしても 一年
 たとひそのあかり心にまかせず、はつはつなりとも、 [①] にはこよなくまさりたるべし。又年のうちに、
より格段にまさっているだろう
 雪螢のあるは、しばしのほどなるに、それがなきほどは、 [②] は書よまでありけるにや、いとをかし。
ゆきまなな 少しの間であるのに ない間 読まないでいたのであろうか まことに変である

- ア、①—雪螢 ②—夜 イ、①—ともし火 ②—夜
 ウ、①—雪螢 ②—冬夏 エ、①—ともし火 ②—冬夏

(次のページへ) ←

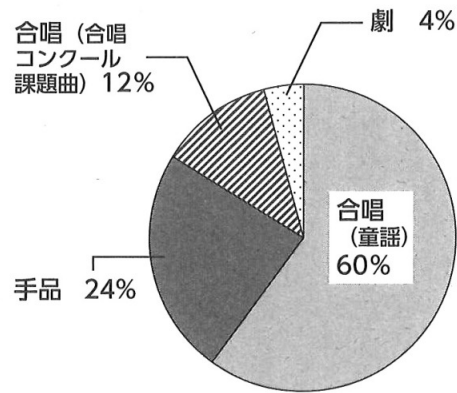
【資料1】 あなたが最もがんばった交流
会の項目は何ですか

(ボランティア部の中学生の回答)



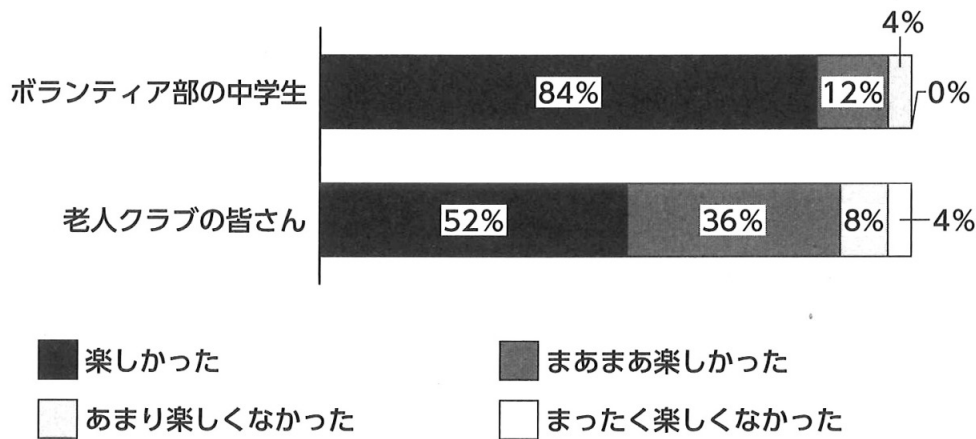
【資料2】 あなたが最もよかったと思う
交流会の項目は何ですか

(老人クラブの皆さんの回答)



【資料3】 交流会は楽しかったですか

(ボランティア部の中学生と老人クラブの皆さんの回答)



【資料4】

○【資料3】の質問において、老人クラブの皆さんがそれぞれ回答した理由の一部

- ・中学生が自分たちのために準備をしてくれたことがわかり、うれしかったから
- ・中学生と一緒に歌うことができ、とても楽しかったから
- ・中学生と話ができず、残念だったから
- ・長い時間イスに座っていたので、少し疲れたから

【資料5】

●今年度の交流会の進行表(案)

	項目
1	開会のあいさつ
2	《未定》
3	閉会のあいさつ

※《未定》の項目については、次回の話し合いで決定する。

あとこの各問いに答えなさい。(十 点)

【資料4】は、昨年度の交流会を計画・実行したボランティア部の中学生とその交流会に参加した老人クラブの皆さんに行ったアンケート結果の一部をまとめたものであり、【資料5】は、ボランティア部の部長が、今年度の交流会について話し合いを行ったときの記録の一部である。これらを読んで、

A 中学校のボランティア部は、毎年 A 地区老人クラブの皆さんを A 中学校に招待し、交流会を行っている。次の【資料1】、【資料2】、【資料3】、

(一) 【資料1】、【資料2】、【資料3】、【資料4】からわかることとして最も適当なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

ア、【資料1】を見ると、ボランテニア部の中学生が最もがんばった交流会の項目について、「合唱(童謡)」と回答した割合は、「合唱(合唱コンクール課題曲)」と回答した割合より小さく、【資料2】を見ると、老人クラブの皆さんが最もよかったと思う交流会の項目については、「合唱(童謡)」より「合唱(合唱コンクール課題曲)」と回答した割合の方が大きい。

イ、【資料1】を見ると、ボランテニア部の中学生が最もがんばった交流会の項目について、「劇」と回答した割合は最も大きいですが、【資料2】を見ると、老人クラブの皆さんが最もよかったと思う交流会の項目について、「劇」と回答した割合は最も小さい。

ウ、【資料3】を見ると、ボランテニア部の中学生が交流会を「楽しかった」「まあまあ楽しかった」と回答した割合は、合わせて九十五パーセント以下である。

エ、【資料3】を見ると、交流会を「楽しかった」「まあまあ楽しかった」と回答した老人クラブの皆さんの割合は、合わせて全体の八割以下であり、その理由として、【資料4】を見ると、「中学生と話ができて、残念だったから」と「長い時間イスに座っていたので、少し疲れたから」が当てはまる。

(二) 次の の中は、ボランテニア部の部員であるいつきさんとなつほさんの会話の一部である。この会話を参考にして、老人クラブの皆さんに交流会で楽しんでもらうための工夫について、あなたの考えを、あとの「作文の注意」にしたがって書きなさい。

いつきさん

今回の話し合いでは、【資料5】の「今年度の交流会の進行表(案)」の中の《未定》の項目について、決定する必要があるね。

なつほさん

それについては、【資料3】の「交流会は楽しかったですか」の質問において、「まったく楽しくなかった」「あまり楽しくなかった」と回答した老人クラブの皆さんがいるから、今年こそ老人クラブの皆さん全員に楽しんでもらえる交流会にしたいよね。

いつきさん

そうだね。昨年度の交流会の項目を参考にするのもいいし、それ以外の項目について新たに考えてもいいね。老人クラブの皆さんに楽しんでもらえる交流会にするには、どんな工夫が必要かな。

「作文の注意」

- ① 題名は書かず本文から書き出しなさい。
- ② 具体的な交流会の項目を一つ取り上げ、【資料4】と右の会話の内容をふまえ、老人クラブの皆さんに楽しんでもらうための工夫を明確にして書きなさい。
- ③ あなたの考えが的確に伝わるように書きなさい。
- ④ 原稿用紙の使い方にしたがって、全体を百六十字以上二百字以内にまとめなさい。

(次のページへ) ←

(三) 次の の中は、ボランティア部の部員が作成した、老人クラブの皆さんへ送付する案内状の下書きの一部である。傍線部分「ご出席するよう」の言葉の使い方が適切でないと先生から指摘されたボランティア部の部員が、傍線部分「ご出席するよう」を適切に書き直したものととして最も適当なものを、あとのア～エから一つ選び、その記号を書きなさい。

はいけい
拝啓

青い空に秋の深まりを感じる季節となりました。A地区老人クラブの皆様におかれましては、いかがが過ぎでしょうか。

さて、私たちA中学校ボランティア部では、左記のように今年も皆様をお招きして、交流会を計画いたしました。ご多用のこととは存じますが、ぜひご出席するようご案内申し上げます。

敬具

——記——

●日時 ○月○日(○)午後四時より

●場所 A中学校体育館

追ってプログラムを送付いたします。

以上

ア、出席いたしますよう

イ、ご出席になるよう

ウ、出席なさるよう

エ、ご出席くださいますよう

受 検 番 号
番

1

- ① む
- ② す
- ③
- ④
- ⑤ い みじか
- ⑥ らす な
- ⑦ かん ばん
- ⑧ じゃっ かん

2

- (一)
- (二)
- (三)

(四)

(五)

3

- (一)
- (二)

(三)

(四)

(五)

4

- (一)
- (二)

(三)

(四)

得 点

らんは食べたから。

A (国語) 採点基準

「採点基準」で処理できない場合は、各校の統一見解で採点されたい。

問題	配点	正答	例	備考	
1 8点	八点	①	いとな(む)	② うなが(す)	* 各一点。 * 字体・字形については、平成二十八年二月二十九日「常用漢字表の字体・字形に関する指針(報告)」(文化審議会国語分科会)に基づいて採点されたい。
		③	かくちよう	④ ぎようしゆく	
		⑤	短(い)	⑥ 鳴(らす)	
		⑦	看板	⑧ 若干	
2 12点	(一)	二点	イ		
	(二)	二点	イ		
	(三)	二点	ウ		
	(四)	三点	心から夢中になれるものを持ち、それをひたむきに追いかけている那彩たちがうらやましかつた(ことに気づいたから。)	(四十三字)	* 文章の展開に即して登場人物の心情を読み取り、的確にまとめる力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 千春がこの言葉を口に出したことで、妙にすつきりしたのは、どのようなことに気づいたからかについての確にとらえているか。 ・ 「……ことに気づいたから。」につながるように本文中の言葉を使つて三十五字以上四十五字以内で的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。
	(五)	三点	エ		
3 12点	(一)	二点	②		
	(二)	二点	エ		
	(三)	三点	警戒心が強い	(六字)	* 同様の趣旨であればよい。
	(四)	二点	D		
	(五)	三点	信仰の対象である高山に生息するため、狩猟の対象とならなかった	(三十字)	* 文章の展開に即して内容をとらえ、的確にまとめる力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。 ・ 日本のライチョウが人を恐れない理由について、筆者の考えを的確にとらえているか。 ・ ライチョウの生息地の特徴にふれて書きあらわしているか。 ・ 本文中の言葉を使つて二十五字以上三十五字以内で的確にまとめているか。 * 同様の趣旨であればよい。 * 字数の不足・超過については一点を減じる。 * 表現に関する誤り(文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等)、表記に関する誤り(文字、仮名遣い、句読点、符号の用い方等)が二か所以上あるものは一点を減じる。

(裏面へ続く)

10点	5	(一)	二点	イ	<p>私は、中学生と老人クラブの皆さんと一緒に歌いたい曲を話し合い、皆で合唱できるとよいと思います。なぜなら、「中学生と一緒に歌うことができ、楽しかった」や「中学生と話すことができず、残念だった」という意見があるからです。だから、中学生と老人クラブの皆さんが、班になって好きな歌や思い出の歌を出し合い、一緒に話し合つて合唱する歌を決め、それを歌う活動を行えば、老人クラブの皆さんに楽しんでもらえると思います。 (百九十八字)</p> <p style="text-align: center;">100 200</p>	<p>* 自分の考えをまとめ、的確に伝わるように適切に書きあらわす力をみる問題である。次のような観点に基づいて採点されたい。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ 老人クラブの皆さんに交流会で楽しんでもらうための工夫について、自分の考えを明確に書いているか。 ・ 具体的な交流会の項目を一つ取り上げ、「資料4」と会話の内容をふまえて、老人クラブの皆さんに楽しんでもらうための工夫を明確に書いているか。 ・ 自分の考えが的確に伝わるように、書きあらわしているか。 <p>* 出題の趣旨に合っていればよい。</p> <p>* 字数の不足・超過については、二十字以内の場合は一点を減じる。二十字を超える場合は二点を減じる。</p> <p>* 表現に関する誤り（文法、文体、語句の意味・用法、主述の照応等）、表記に関する誤り（文字、仮名遣い、句読点、符号の使い方、原稿用紙の使い方等）が二か所あるものは一点を減じる。三か所以上あるものは二点を減じる。</p>
		(二)	六 点			
	(三)	二 点	エ			
	8点	4	(一)	二 点		
		(二)	二 点	ウ		
		(三)	二 点	家賃不常得油		
		(四)	二 点	ア		
合計 五十点						